

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	利用者様の隠れた深い思いを把握し、自己実現できるよう支援していく。	センター方式の私の気持ちシートを活用し、利用者様の思いを深く掘り下げ、本質を導き出す。	全職員と家族様がセンター方式の「私の気持ちシート」に取り組む。ご本人の気持ちになりきって書き上げていく事により、利用者様の本質となる深い部分の気持ちに気づき、利用者様の思いを実現していく。	2ヶ月
2	10	日々の業務なかで毎日モニタリングを行う。	職員が業務のなかで、毎日モニタリングをする事により、ケアプランの周知、共有を図り、個別ケアを実践していく。	個別のケアのニーズを介護記録に刷り込み、毎日の業務として職員がモニタリングし記録に残し、ケアマネージャーが確認する。	1ヶ月
3	6	家族様と一緒にケアプランを作り上げていく。	モニタリング、アセスメントを家族様と一緒にを行い一緒にケアプランを作る。	モニタリング・アセスメントの段階から家族様に参加して頂けるよう情報交換を密にし、情報を共有しながら、ケアプラン原案を作り上げ、担当者会議でもご本人や家族様の意向を伺い、ケアプランに反映していく。	1ヶ月
4	1	職員全員で考えた事業所独自のスローガンを持つ。	職員全員でこころあい海老江独自のスローガンを考え、家族様地域の方々と共有し、一体となって実践する。	職員一人一人の夢と目標を盛りこみ、核となるスローガンを作成し、スローガンに添った利用者様の為のホームを家族様、地域の方々と一緒に作っていく。	2ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。